お客さまへ

２０２６年１０月

株式会社大東銀行

投資信託約款の規定変更（予定）のお知らせ

拝啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
　さて、当行取扱の投資信託商品につきまして、信託財産の運用改善を目的とした、信託約款の規定の変更を予定しておりますので、下記のとおりお知らせします。

敬具

記

１．商　　品　　名　　トレンド・アロケーション・オープン

２．運　用　会　社　　三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社

３．変 更 予 定 日　　２０２７年1月２９日　および　２０２７年4月２４日

　詳細は運用会社作成のお知らせを参照ください。
　ご不明な点につきましてはお近くの＜だいとう＞窓口または、別紙に記載の運用会社お客さま専用フリーダイヤルまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

以上

2026年10月24日

受益者のみなさま

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

ご保有の投資信託「トレンド・アロケーション・オープン」の投資対象ファンド入替の予定について

拝啓　時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は弊社の投資信託に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご投資いただいております「トレンド・アロケーション・オープン」につきまして、投資対象ファンドの入替とそれに伴う運用方針の一部見直しを予定していることをお知らせいたします。当該投資対象ファンドの入替にあたっては、2027年1月29日（金）に新たな投資対象ファンドを追加し、2027年4月24日（土）に現行の投資対象ファンドを削除することを予定しております。

この投資対象ファンドの入替にあたりましては、投資信託約款の規定を変更（以下、約款変更）するため、法令等に基づき書面決議を行います。以下書面決議の手続きに沿って約款変更に対する賛成または反対の意思を表明いただくことができます。なお、変更内容に賛成の場合は特段必要なお手続きはございません。
何卒ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記



1.お知らせしたいこと

「トレンド・アロケーション・オープン」（以下、本ファンド）の投資対象ファンドの入替および付随する約款変更について

2.お手続き

変更内容に賛成の場合	特に必要なお手続きはありません。
変更内容に反対の場合	反対の旨をお申し出いただけます。

※くわしくは次頁以降をご覧ください。

以　上

このお知らせに関するお問い合わせ先
三菱UFJアセットマネジメント株式会社　お客さま専用フリーダイヤル　0120-759318
【受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日・12 月 31 日～1 月 3 日を除く）】

「書面決議」手続きの流れ

受益者さま

変更内容に賛成の場合

お手続きは不要

※「議決権行使書面」の返送がない場合には変更内容に賛成するものとみなされますので、特にお手続きいただく必要はありません。（賛成の旨をご返送いただくことも可能です。）

変更内容に反対の場合

「議決権行使書面」を返送

※「議決権行使書面」に反対される旨をご記入いただき、弊社宛にご返送ください。

※詳しくはQ＆Aの「Q6.」をご参照ください。

【ご注意事項】
- 同一の受益者さまが、重複して議決権を行使された場合で、議決権の行使の内容が異なるときは、すべての議決権を無効とさせていただきますのでご了承ください。
- 変更内容についての賛否を記入する欄に賛成または反対のご記入がない「議決権行使書面」をご提出された場合は、変更内容に賛成するものとみなします。

「議決権行使書面」受付期間
2026年11月25日（水）～2026年12月14日（月）

※2026年12月14日（月） 弊社到着分までを有効とさせていただきます。

議決権口数の集計
約款変更の実施可否を書面による議決権行使の受益権の口数を集計することにより判定いたします。

書面決議の日
（約款変更実施可否決定）
2026年12月16日（水）

※ 約款変更実施可否は弊社ホームページでご確認いただけます。

賛成された方の受益権口数が
3分の2以上の場合

約款変更を実施します
約款変更（投資対象ファンド追加）
予定日：2027年1月29日（金）
約款変更（現行投資対象ファンド削除）
予定日：2027年4月24日（土）

賛成された方の受益権口数が
3分の2未満の場合

約款変更を実施しません

この場合、約款変更を実施しない旨を、速やかにホームページでお知らせいたします。

「トレンド・アロケーション・オープン」約款変更に関するQ&A

Q1. 変更内容と変更理由を教えてください。

A1. 本ファンドは、アリアンツ・グローバル・インベスターズ（以下、アリアンツ GI）が提供するマルチアセット運用の中核となるダイナミック・マルチアセット・プラス戦略を基盤とする投資対象ファンドへの投資を通じて世界各国の株式、債券、リートおよびコモディティ等への分散投資を行い、市場環境に応じて機動的に資産配分を調整することを目指してまいりました。特に下落局面におけるリスク抑制機能（ダウンサイド・リスク・マネジメント）を重視した運用を行ってまいりました。
ダウンサイド・リスク・マネジメントは、過去1年の高値からの下落率を15%以内に収めることで大幅な下落を抑制することを目指す運用戦略ですが、近年の急落急反発局面では、下落率抑制後の反発をとらえきれずパフォーマンスが低迷する状況が継続いたしました。

今般、本ファンドのパフォーマンス向上のためには抜本的な改善策の実施が必要であると判断し、検討を重ねた結果、投資対象ファンドを入れ替えることで運用方針の一部を見直すべきとの結論に至りました。

新たに投資対象とするファンドは、現行の投資対象ファンドに比べて、市場急落後の回復局面への追随を見込める仕組みを有していることなどから、本ファンドのパフォーマンスの向上が期待できるものと考えております。
この投資対象ファンドの入替に伴い、為替ヘッジの取扱いや申込受付不可日等につきましても変更いたします。くわしくは、同封の「書面決議参考書類」に記載の投資信託約款の変更の案をご確認ください。

なお、当該投資対象ファンドの入替により運用方針の一部が変更になることから、その変更内容が重大なものに該当するものと判断いたしましたので、受益者のみなさまのご意向を確認する手続きとして書面決議を行わせていただきます。
何卒ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
※運用方針の主な変更内容については「Q2.」をご参照ください。

【投資対象ファンドの入替】

変更後	**アリアンツ・ダイナミック・マルチ・アセット・ストラテジー・エス・アール・アイ50（クラスWT3(H5－JPY)）**（以下、DMAS 50）
変更前	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）（以下、DMAPF）

【付随する主な約款変更】
・実質的な投資対象資産

変更後	**・世界各国（新興国を含む。）の株式、債券、リート、コモディティおよびオルタナティブ資産等の幅広い資産 （上場投資信託等を通じて各資産に投資を行う場合あり）** **・効率的な運用に資するため、世界各国の先物取引、オプション取引、スワップ取引等のデリバティブ取引を利用する場合あり**
変更前	・先進国の国債、世界各国の上場投資信託証券等 （上場投資信託等を通じて世界各国の株式・債券・リート等の幅広い資産に投資） ・世界各国の先物取引も利用

・為替ヘッジの取り扱い

変更後	**部分ヘッジ （DMAS 50 において為替取引を行い実質組入外貨建資産の為替変動リスクの低減をはかることがある。）**
変更前	フルヘッジ （DMAPF において、原則として実質組入外貨建資産について対円で為替ヘッジを行う。）

・申込受付不可日

変更後	**ルクセンブルク証券取引所の休業日 ルクセンブルクの銀行の休業日および半休日 ニューヨーク証券取引所の休業日 ニューヨークの銀行の休業日 フランクフルト証券取引所の休業日 フランクフルトの銀行の休業日 上記に該当する休業日が3営業日連続する場合、その連続休業日の直前3営業日間**
変更前	ロンドン証券取引所の休業日 ロンドンの銀行の休業日 ニューヨーク証券取引所の休業日 ニューヨークの銀行の休業日 フランクフルト証券取引所の休業日

※上記以外の付随変更等、約款変更内容の詳細については同封の「書面決議参考書類」に記載の投資信託約款の変更の案をご確認ください。

Q2. 投資対象ファンドの入替で運用はどのように変わりますか。

A2. 投資対象ファンドを入れ替えることで主に以下の3点が変更となります。

①投資対象資産

ハイイールド債券やオルタナティブ資産、ETF 以外の投資信託証券等が投資対象資産に加わるほか、先物やオプション等のデリバティブ取引を活用するなど投資対象資産が拡大・多様化します。

※複数資産に投資魅力があると考えられる局面等では、レバレッジを活用し、DMAS 50のポートフォリオの実質的な投資比率が100%を超える場合があります。

②為替ヘッジ

為替ヘッジが対円でのフルヘッジ（DMAPF において、投資する資産全体について為替ヘッジを行う。）から部分ヘッジ（DMAS 50において、債券等についてユーロ売り円買いの為替取引を行い、為替変動リスクの低減を図る。）になります。

※為替取引は為替変動リスクを完全に排除するものではありません。また、ユーロ以外の通貨の影響を受ける場合があります。

※なお、上記以外の部分（株式等）については、原則として為替取引を行わず、為替相場の変動による影響を受けます。

③リスク管理戦略

過去1年の高値からの下落率を15%以内に収めることを目指す大幅な下落抑制を重視するリスク管理から、リスク量（ボラティリティ）や下方リスクに配慮し、市場環境に応じた資産配分やデリバティブ取引を活用した柔軟なリスク管理に変更し、リスク抑制と下落後の回復局面への対応力強

化を図ります。
※DMAS 50は、市場急落時の下落の抑制を図るとともに急反発もとらえることを目指す戦略ですが、15%下落抑制の機能はなくなるため、大幅な下落が継続する局面では DMAPF より下落率が大きくなる可能性があります。

Q3. 運用について投資対象ファンドの入替後も変わらないことはありますか。

A3. 投資対象ファンドの運用会社は変わりません。DMAPF、DMAS 50ともにアリアンツ GI が運用を行います。
また、3つの戦略(各資産のトレンドを分析する戦略、運用者による定性分析を用いる戦略、下落リスクを管理する戦略)を用いて世界各国の幅広い資産に分散投資する基本的な考え方は両ファンドに共通しています。

Q4. 何か手続きが必要ですか？

A4. 変更内容に賛成の場合、特に必要なお手続きはございません。
変更内容に反対の場合、「議決権行使書面」に反対される旨をご記入の上、ご返送いただくことで反対の意思を表明いただくことができます。
なお、「議決権行使書面」をご返送されない(議決権を行使しない)場合は、変更内容に賛成するものとみなされます。
議決権を行使できる受益者さまは、2026年10月27日(火)時点で本ファンドを保有されている受益者さま(2026年10月23日(金)の購入申込者を含みます。)です。
書面決議の手続きについては「Q6.」をご参照ください。

Q5. 変更の実施が確定したかどうかはどのようにして知ることができますか？

A5. 2026年12月16日(水)に本約款変更の実施の可否をホームページで公表いたしますので、そちらでご確認いただけます。
行使された議決権口数を集計し、賛成の口数が2026年10月27日(火)時点の受益権総口数の3分の2以上である場合に、約款変更の実施が決定いたします。
また、3分の2以上の賛成を得られず約款変更を実施しないこととなった場合は、従前どおりの運用を継続いたします。この場合、約款変更を行わない旨とその理由を弊社ホームページで公表いたします。

本約款変更にかかる今後の日程は以下のとおりです。
○今後の日程(予定)

日付	内容	詳細
2026年12月14日(月)	①「議決権行使書面」受付期限	2026年12月14日(月)の弊社到着分まで有効とさせていただきます。
2026年12月16日(水)	②書面決議の日	約款変更実施の可否を決定します。
以下、約款変更を実施する場合		
2027年1月29日(金)	③約款変更日(投資対象ファンドの追加)	約款変更(DMAS 50の投資対象ファンドへの追加、付随変更)を実施します。
2027年4月24日(土)	④約款変更日(現行投資対象ファンドの削除)	約款変更(DMAPF の投資対象ファンドからの削除)を実施します。

Q6. 約款変更に対して賛成または反対の意思を表明したい場合、どうすればよいですか？

A6. 本状に「議決権行使書」と「返信用封筒」を同封しておりますので、「議決権行使書面」に、本約款変更について賛成または反対される旨および必要事項をご記入の上、「返信用封筒」にて弊社宛にご返送ください。

2026年12月14日(月)弊社到着分までを有効とさせていただきますので、余裕をもってご投函ください。
なお、「議決権行使書面」の返送がない(議決権を行使しない)場合は、変更内容に賛成するものとみなされます。

【ご注意事項】
・同一の受益者さまが、重複して議決権を行使された場合で、議決権の行使の内容が異なるときは、すべての議決権を無効とさせていただきますのでご了承ください。
・賛否を記入する欄に賛成または反対のご記入がない「議決権行使書面」をご提出された場合は、変更内容に賛成するものとみなします。

Q7. 約款変更に反対したにもかかわらず約款変更の実施が決定した場合には解約したいです。どうしたら良いですか？

A7. 約款変更の実施が決定後、反対の意思を表明した受益者さまが本ファンドを解約されたい場合は、通常通り販売会社でのご解約手続きをお願いいたします。(本ファンドについては、約款変更に反対の意思を表明した場合でも受託者への買取請求は行えません。)

※本ファンドおよび本件変更の関連情報につきましては以下、弊社HPをご覧ください。
(URL: https://www.am.mufg.jp/fund/148098.html)
スマートフォン等をご利用の方は、以下のQRコードからもアクセスいただけます。

今後とも弊社投資信託をお引き立ていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

以　上